

東部地域の防災の拠点完成

東部防災センター竣工

市東部地域の防災の拠点となる東部防災センターが、昨年12月20日(水)に竣工式が行われ、引き続いて竣工式が行われました。

竣工式では、民秋市長が東部防災センターが市東部地域の防災の拠点として、大きな役割を果たすものと確信しています」とあいさつをされました。

完成した東部防災センターは、敷地面積190・6平方メートル、鉄骨平屋建て、消防車庫、防災倉庫などを備えています。

所在地 森本町四ノ坪27



テープカットする民秋市長ら



鍵の引渡式

新ポンプ車配置

向日市消防団第5分団(上植野町)に最新鋭の普通ポンプ車1台を配置しました。

通消防ポンプ自動車は、昨年12月20日(水)に竣工式が行われ、引き続いて竣工式が行われました。

民秋市長から龍本消防団長に鍵の引渡しが行われました。

年始の業務案内
窓口事務は4日(木)から
市民体育館は5日(金)から

窓口事務

1月4日(木)午前8時30分から平常通り事務を行います。

テレビ番組案内

KBS京都

新春特別番組

1990 21世紀へのまちづくり
—ふるさと創生と文化の向上—
1月2日(火) 午前8時30分～9時



民秋市長

桜井 貞夫 氏 (版)

遠藤 保子 氏 (京都教育大学助教授)

出生・死亡・婚姻の届出

休日・祝日は、市役所の警備員室で受け付けします。

住民票取次所

かどや手芸店(東向日駅前)、西川時計店(JR向日町駅前)は1月5日(金)から平常の区域を収集します。

ゴミの収集

し尿くみとりは、1月5日(金)から予定表の区域をくみとります。

老人福祉センター

1月5日(金)から平常通り業務を行います。

阿蘭陀船入津図



▲KAMEEL 駱駝

記念講演会

「外国人と長崎」

第4回 美しい本展 演会を開催します。
長崎絵を記念して講 演会を開催します。
1月20日(土) 午後2時

主な展示内容

阿蘭陀船図・唐船図・長崎港之図・阿蘭陀人図・唐人食卓ノ図・唐人蛇籠・歌島ノ図・長崎土産ほか



▲望遠鏡で見る異国人

▼場所 図書館
▼演題 外国人と長崎
▼講師 京都大学名誉教授 吉田光邦氏
▼入場料 無料

文化財調査事務所

1月4日(木)から平常通り業務を行います。

保健センター

1月5日(金)から平常通り業務を行います。

文化資料館

1月5日(金)から平常通り業務を行います。

地域に生かす 移動「消費生活相談」
1月17日(水) 物産女公民館
1月31日(水) 森本公民館
午後1時30分～3時30分
経済課(内線335)

いま、新しい京都府の舞台づくり

京都府知事 荒巻 稔一

府民の皆様、あけましておめでとうございませう。

「駿馬、疾風のごとく」――まさに明日へ駆ける新しい年を、皆様とともに迎えられることを、心よりお喜び申し上げます。

時代は昭和から平成へと変わり、加えて九十年代を迎え、輝かしい二十一世紀への舞台づくりが、いよいよ本格化する時期に入ろうとしています。

私は、昭和六十一年の春に府民の皆様のお信託を頂き、知事に就任いたしました。以来、皆様の御理解と御協力のもとに、常に「時代の流れを的確にとらえ、将来をみすえた京都府を築く」ことを心がけてまいりました。しかし、これからの十年という期間は、二十一世紀の礎となる芽を伸ばし、大輪を咲かせるための、大変重要な時であると考えます。

一方、昨今の諸情勢は、国際的・社会的・経済的に複雑多岐な様相を呈しています。また、急速に進化する高齢化をはじめ、国際化、高度情報化、経済のソフト化などは、私たちの日常生活に大きな影響を与えておられます。加えて、豊かさに対する私たちの考え方、も「もの」から「ところ」、そして「感性」から「感動」へと移りつつあります。

こうした中で、府政の果たすべき役割は、以前にも増して大きくなってきております。私たち府民の快適な生活基盤を築き上げるためには、地域社会の活性化につながる様々な施策を有機的に結びつけ、府内全域の均質ある発展を目指すことが大切です。

そのために京都府では、市町村や関係機関・団体と一体となって、府内全域はもろろんのこと、府内と府外の生活圏の拡大や産業振興に役立つ総合的な道路交通網の整備を進めています。また、装いも新たにスタートした北近畿タンゴ鉄道や他の鉄道路線を充実させるとともに、京都府北部や関西新空港へのアクセス等をもみすえた「ヘリ・コミュニティ」構想も、実現に向けて急がなければなりません。これらは、二十一世紀の交通網としても大きな役割を果たすものであります。また、京都府を交える広域のプロジェクトとして積極的に推進している「関西文化学術研究都市」や「丹波リゾート構想」を現実的に進め、中部地域や木津川右岸での構想なども早期につくりあげるとともに、京都市とその周辺や北部連環都市の都市機能を充実させる必要があります。さらに、舞鶴港や京都リサーチパークなどを産業振興の柱に、世界をみすえた京都府を目指さなければなりません。

そして、心豊かな生活を送るためにも、自由・人権尊重の意識を更に高めるとともに、高齢者のための「SKY(スカイ)プラン」や男女共同参加社会を目指した「KYOのあけぼのプラン」を強力に推進し進めねばなりません。あわせて、心の活性化につながるイベントとして、今年の生涯学習フェスティバルや来年の「全国植樹祭」、さらには四年後の「平安建都千二百年」に臨む必要があります。

いま京都府は、このように新たな段階へと進みつつあり、これらを中核に、新春早々には二十一世紀を展望した京都府の設計図ともいえる「第四次京都府総合開発計画」を決定します。この将来ビジョンにもとづいて、施策を積極的に推進するつもりです。

私たち府民に、愛着と誇りを脈々と育ててきてくれた、ここ京都の自然と歴史と文化、そして伝統。この大いなる遺産に安住することなく、これを生かすとともに先人の熱き思いに心をこめて、その創意工夫と進取の気質を学び、いまこそ新しい京都府づくりに取り組んでいきたいと思います。そして、来るべき二十一世紀には、京都府が我が国の発展に一層貢献し、国際社会においても名譽ある地位を築き上げるとともに、府民一人ひとりが心豊かに健康で、生き生きとした生活を送れるよう、情熱をそそぐ決意であります。

新年にあたり、府民の皆様への御挨拶の場として、府民の皆様への御理解と御協力を御願い申し上げます。心から、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。